

# 流域1万人だより 041～050

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

041. 浮羽町役場 (2004.11.11)

042. 鳥飼校区公民館(久留米市)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.09.21)

043. 小森野校区公民館(久留米市小森野町)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.09.25)

044. 東櫛原公民館(久留米市東櫛原)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.03)

045. 大野島コミュニティセンター(大川市)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.05)

046. 三又コミュニティセンター(大川市三又)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.06)

047. 甘木市 金川公民館 (2004.12.03)

048. 甘木市 蜷城公民館 (2004.12.04)

049. 吉井町役場 (2004.12.08)

050. 杷木町役場 (2004.12.13)

# 流域1万人だより VOL.41

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 11月11日(木)に浮羽町役場で 浮羽地域代表者懇談会を開催しました！！

「筑後川水系河川整備計画」策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」を開催しています。

今回は11月11日(木)に浮羽町役場において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き多くの方からヒアリングを行っていく予定です。

地域名 浮羽町

① 代表者懇談会

2. 住民懇談会

### 出席者

国	4
県	0
町	2
住民	12

### 主な意見

#### 【河川の整備について】

大石分水路の左岸の寿橋上下流1600mの小段を利用して散歩道にするよう要望を行っている。

堤防のかさ上げ

住民で堤防の草刈りを行っている

川原町の下御所橋は幅員が狭い。架け替え計画はあるのか。

隈ノ上川に鮎が見られるようになった。

堰を撤去しているが魚がのぼれるように整備してほしい。

保木公園を水辺公園として整備してほしい。

#### 【ゴミについて】

カヌー利用のための階段があるが、ヨシの中にゴミが溜まっている。ゴミの不法投棄防止の看板を設置してほしい。

大石堰の堤防の下にぐり石が並べてあるが、泥が溜まり樹木が生えている。

#### 【除草について】

除草は年に2回だけなのか。除草で出た草は燃やしていいのか。

#### 【筑後川の水質について】

川の水面に石けんから出る油のようなものが浮いている。田畑に水を入れる際に泡が立ち非常に不快だ。

水草で窒素分を取ってほしい。

#### 【文化の保全について】

保木沈橋が出水時に破損している。国交省としては撤去したいと聞いたが、補修してほしいのだが。

保木沈橋の管理者はどこなのか。地域にとっては生活道路としても利用している歴史のある橋である。

また福岡県百景のひとつにもなっている。現在ではアシにゴミがかかり見苦しい。

#### 【その他】

井延川の水門より上流に土砂が置いてある。雨が降ると流れて迷惑している、除去してほしい。

### 地域代表者懇談会の様子



# 流域 1 万人だより VOL. 42

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

9月21日(月)に鳥飼校区公民館にて  
 「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、  
 27名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 久留米市

1. 代表者懇談会
- ② 住民懇談会

出席者	
国	10
県	2
市	2
住民	27

「今日のひとこと」  
**”子どもたちの記憶に残る川づくりを！”**

## 主な意見

### 【昔の筑後川の思い出】

昔の豆津橋付近は、ヨシで覆われていて鳥の棲み場であった。だからこそ、「鳥飼」の地名がついたのではないが、川にはハヤ、ザリガニ等がたくさんいて、シジミも取れていた。今の子どもに体験させたい。水天宮近くで、毎日泳いでいた。昔は雨のあとドンコがたくさんいた。

### 【治水対策について】

S28年水害では、4日間ほど連続して雨が降り続いた。その時の雨が今降ったら、上流の方で決壊の恐れがあるのか。鳥飼はどの様に浸水するのか。(上流では決壊の危険性がある箇所もある)池町川の浄化センター付近には、護岸が2～3年のうちに壊れそうな箇所がある。金丸川中流の聖マリア病院付近より下流の改修が遅れている。早急に着手してほしい。(池町川、金丸川は県が管理している河川です)

### 【河川管理について】

河川内の不法投棄については、市民と行政それぞれやるべき問題である。市民一人一人が自覚するべきだ。30年間川の掃除を行ってきた。鳥飼地区には、池町川、金丸川、湯ノ尻川、鳥飼川の4河川あり、金丸川と池町川の合流点にカン等のゴミがよくたまる。

### 【水利用について】

筑後大堰ができて20年。上流側は湖のようになっており、水質が悪いので、重点的に調査してほしい。また川底もがたまった状態で川の中に立つこともできないため、調査をして対応を考えてもらいたい。古賀坂水門下流のリバーサイドパーク付近に小さな子どもや年寄りが遊べる栈橋などをつくってもらいたい。宝満川合流点付近にウインドサーフィンができるような乗り入れ坂路ができないか。池町川は護岸の勾配がきつく、川に降りても上がれる場所がない。上がれる場所を作ってもらいたい。

### 【その他】

宝満川の分流の所に橋をつくって交通の便をよくしてもらいたい。国側から住民に意見を求めてきたことは非常に良いことである。今後も窓口をつくってほしい。現在の子どもの記憶に残る川つくってもらいたい。

## 住民懇談会の様子



# 流域 1 万人だより VOL. 43

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

地域名 久留米市

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

## 出席者

国	10
県	2
市	3
住民	21

9月25日(土)に小森野校区公民館(久留米市小森野町)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、21名の住民の方から活発な意見が出されました！！

## 主な意見

### 【治水対策について】

小森野は筑後川本川と宝満川に囲まれている地区であるが、筑後川の堤防は強固だが、宝満川の堤防は貧弱である。近年の異常気象による降雨は大変心配である。  
(「堤防の規格は流量により決定している」とのご説明をいたしました。)  
堤防整備を進めて欲しい。  
28年水害の時はすごかった。小森野地区の人々には水害への危機感を持ってもらいたい。

### 【河川利用について】

久留米市を自然と文化の調和した一大観光都市とする構想として、1)高水敷きに桜、ツツジを植える  
2)スポーツ環境整備(カヌー等)を提案する。  
遊覧船が通る途中に資料館を造り、篠山城を復活させて欲しい。  
宝満川に近づけるように階段を設置して欲しい。  
堤防に防犯のための街灯を設置して欲しい。

### 【河川環境について】

石等を利用した子どもの水遊び場があったらいいと思う。  
環境基準値はクリアしているようだが、釣った魚が食べられる程きれいにして欲しい。  
昔は宝満川で魚やエビが捕れていた。宝満川をきれいにして昔の環境に戻して欲しい。  
以前は川に落ちたゴルフボールが見えていたが、最近は川が汚れて見えない。

### 【河川管理に関して】

国道3号線の久留米大橋の河川管理用道路を利用させて欲しい。  
サイクリングロードに木陰や休憩場所が欲しい。

## 住民懇談会の様子



# 流域1万人だより VOL.44

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

10月3日(日)に東櫛原公民館(久留米市東櫛原)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、23名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 久留米市

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者

国	9
県	2
市	3
住民	23

## 主な意見

### 【昔の筑後川の思い出】

大堰下流の堰付近で稚鮎がたくさん捕れた。今は魚を釣っていると漁業組合から600円を徴収される。五郎丸あたりの川の中に砂浜があったり、浅瀬だったり、鉄橋から飛び降りたりして泳ぐのが楽しみだった。手こぎのボート屋があり、ボートに乗るのも楽しみの1つだった。

### 【治水対策について】

昭和28年大水害の時は、出水後何日も上流からの水が引かず苦労した。今は宅地化が進み、28年水害並みの雨が降った時に櫛原の内水がどのようになるか不安だ。

水害のない櫛原にして欲しい。川を浚えるところは浚って、曲がったところはまっすぐにして、堤防のかさ上げをお願いしたい。

市役所の直轄である筒川の改修が進んでいないようだ。今年の8月2日には、かつての遊水池であった消防署と警察署の近くで冠水し、宅地で30cm、道路で40cmであった。解決する方法としては、遊水池を新設する必要があると思っている。

### 【環境整備について】

大堰が出来てから鮎が釣れなくなった。昔の様にきれいな川に戻して欲しい。

### 【河川利用について】

大堰の上流にゲートボール場が欲しい。

堤防道路は2車線ほど確保できれば強度も増すのではないかな。

遊覧船を浮かべるとのことだが、堤防が高い事から、ほとんど何も見えないのではないかな。

## 住民懇談会の様子



# 流域 1 万人だより VOL. 45

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

10月5日(火)に大野島コミュニティセンター(大川市)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、11名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 大川市

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者

国	11
県	1
市	3
住民	11

## 主な意見

### 【治水対策について】

大野島は河口に位置しており台風被害を恐れている。堤防のかさ上げと補強を早く実施して欲しい。川口から大野島を見るとほとんどの家屋が堤防より低い。宝島の沈礁を延長すれば風止めになるのではないかな。

### 【河川管理について】

堤防が整備され環境がよくなってきたが、大野島ではヨシの茂みの中にゴミを捨てていく人がいる。そのまま放置すれば川はゴミ捨て場となってしまう。除草などの管理面の問題も伴うと思うが、運動公園の小段に桜の木を植えると花見をしたりお弁当を食べたりできる。菜の花公園にしたいとの意見もある。ヨシの伐採は行ってもいいのか。昔は村の方で伐採していたと聞いている。伐採したヨシを住民が売買して、その収益は村の収入となっていた。松原・下笠ダムの弾力的運用は理解してるが、6月の田植え時期に水量が極端に減ることや有明海への流量が確保されるよう適切な配慮をお願いしたい。

### 【河川環境について】

昔の筑後川は堤防の外にもヨシが生えていた。川の水もきれいで大きな瓶に入れて飲んでいた。宝島ではエビや小さなクツゾコ、ハゼグチ、シジミなど晩のおかずが沢山捕れていた。今は全く捕れなくなっており、砂もなくなってしまった。筑後大堰が整備されるまでは渡しが行われていた。昔はヨシの中にシオマネキが沢山いたが今は全く見られなくなってしまった。それだけ川の姿が変わってしまったと言える。昔の生き物が棲める川づくりをお願いしたい。昔はヨシが繁茂していたので、満潮になってもヨシの中は真水で淡水魚でも生息することができた。今は海水域になってしまい、有明海の魚がそのまま泳いでいる。上流から流れてくる砂も少なくなった。人工的に自然をいじると環境に影響を与えてしまう。シオマネキやワラスボも少なくなってしまった。シラエビやテナガエビの姿は見る事ができる。しかし総じて筑後川の生き物の数が少なくなってしまったのを感じる。筑後大堰が整備されてから、昔はなかったシチメンソウが見られるようになった。シチメンソウヲ保護する方策はないだろうか。筑後川の上流にダムができてから砂が流れてこなくなった。

### 【河川利用について】

これからは地域住民と行政は連携していかなければならないが、地域として出来ること出来ないことを教えて欲しい。その内容は広報・PRして欲しい。台風時に漁船を避難させる港がない。早めに避難しないと船止めがなくなってしまう。風止めができるような漁港を整備して欲しい。公共事業に予算がないのは住民もわかっているが、できることとできないことをきちんと区別して説明して欲しい。さもないと住民は誤解を受ける。意見を言って対応してくれるなら住民も参加する。対応が出来ないなら懇談会には誰も参加しないだろう。住民は目に見える対応を求めている。

## 住民懇談会の様子



# 流域1万人だより VOL.46

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

10月6日(水)に三又コミュニティーセンター(大川市三又)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、18名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 大川市

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

## 出席者

国	6
県	1
市	3
水機構	2
住民	18

## 主な意見

### 【昔の筑後川の思い出】

昔は河床が高く、綺麗な砂が多かった。裸足で降りてシジミがバケツ1杯捕れた。エツが減った。エツは下田の渡し付近で産卵していた。エツは臆病な魚で、懐の深い川でなければ生息しない。今ではエイやワラスボなど海の魚がよく釣れるが、昔は全くいなかった。河川敷のヨシが減った。ヨシ鳥の数がこの40～50年の間にだいぶ減ってきた。

### 【治水対策について】

今年の台風18号で有明沿岸が塩の被害を受けている。堤防のかさ上げをして欲しい。筑後川の右岸については湛水防除施設があるが、左岸側には強制排水している施設が少ない。台風18号の時に新橋水門の操作が遅かった。費用をかけて施設を造ったのは良いが、管理をしっかりするべき。

### 【環境整備について】

上流ダム群ができて治水という面では良くなったと思うが、昔は鉄砲水によりクリークが綺麗になっていた。ゴミの不法投棄が多い。堤防の下まで車で降りられる場所に夜捨てにくるので、入れないように鎖を張って通れない様にしてもらいたい。遊漁船の不法投棄がある。船を繋ぐにも許可制にして車と同じように車庫証明の様にしてほしい。昔川砂があったが、今はなくなっている。国土交通省が音頭を取って各機関が連携して環境を改善するような法律をつくってほしい。東京の多摩川では水が綺麗になって魚がどんどん昇ってきていると聞いている。東京でやっているのだから、我々も出来るはず。我々もやるので国土交通省にも頑張ってもらいたい。

### 【河川利用について】

サイクリングが出来るような道路を河川敷につくってもらいたい。大川市は交通の便が悪いところであり、堤防のかさ上げと同時に道路の幅員を広げて整備して欲しい。

## 住民懇談会の様子



# 流域1万人だより VOL.47

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 12月3日(金)に金川公民館(甘木市)にて 金川地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」を実施中です。今回は12月3日(金)に金川公民館(甘木市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名	甘木市
-----	-----

①. 代表者懇談会
-----------

2. 住民懇談会
----------

出席者	
-----	--

国	2
---	---

県	0
---	---

町	1
---	---

住民	13
----	----

### 主な意見

#### 【昔の筑後川の思い出】

私たちが小さい頃の川の石は非常にきれいだった。その石に住み着くオロノコやシマドジョウも多かった。昔は養蚕業がさかんで佐田川で洗い、りっぱな河原の石で天日干しをしていた。昔は数え切れないくらい魚がいた。今の子どもたちが寄りつくような川にしたい。

#### 【環境・水利用・管理等について】

私たちは佐田川・桂川を母なる川として愛しながら生きてきた。寺内ダムができてから水量が非常に少なくなったように思う。維持用水の増量をお願いしたい。農業用水の不足に対応するために、松原ダムに補給水を確保して流況が悪化したときに補給を行う試み(弾力的管理試験)を行っているが、今後も補給水の増加を考えてもらいたい。将来的に井堰の撤去をする話も出てくるだろうが、仮に撤去するとなれば地下水がなくなる可能性があるのではないかと。井堰があることによって良い面もある。無くしてよいもの、無くすべきでないものを分けて考えてほしい。ダムができてから川の環境が変わったように思う。昔の環境を取り戻したい。堤防道路も(管理用につくられているのは理解しているが)幅員の狭さ、舗装の有無等について住民の立場に立った整備をお願いしたい。失われた地下水をどう回復するか。昔の豊かな水資源を取り戻したい。

#### 【その他】

河川には文化がついてくる、川と人間は深い関係がある。金川には金川の文化がある。この地域特有の淡水のりは湧水が育んできた。この地域の湧水が減ってきているので非常に心配である。

### 地域代表者懇談会の様子



# 流域1万人だより VOL.48

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 12月4日(土)に蜷城公民館(甘木市)にて 蜷城地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。今回は12月4日(土)に蜷城公民館(甘木市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名	甘木市
-----	-----

①. 代表者懇談会
2. 住民懇談会

出席者	
国	2
県	0
市	1
住民	13

### 主な意見

#### 【昔の筑後川の思い出】

昔の川の水はとても美しくよく泳いだものだ。昭和20年後半からは筑後川水上駅伝大会が行われていた。昔の佐田川は桜並木があり、ホタルの舞うとても美しい川だった。

#### 【治水対策について】

桂川の下長田水門(桂川水門)を国に整備してもらったが、流域の開発(平地における園芸栽培ハウス、山地における果樹栽培の増加等)により雨水が川に一気に流れてくる状況にあり、いつ災害が起こるかわからない。蜷城地区は昭和28年水害で辛い経験をしている。治水対策を第一に考えてもらいたい。桂川の整備については、中上流の改修よりも強制排水ポンプの設置をお願いしたい。筑後川本川が増水した場合、逆流防止のため水門を閉めることによって内水被害を伴う。畑に水が入り、夏野菜が作れない。水門の操作について、現在の操作は非常に扱いづらいので扱いやすくしてほしい。また遠隔操作なども取り入れてもらいたい。

#### 【環境・利用について】

蜷城は昔から水争いなどの歴史的な背景があり恵利堰とのかかわりも深い。歴史的に重要なもの、水に関わる昔からの文化を周辺の公園化などとして残すようにしてほしい。

佐田川の河川維持用水を確保してほしい。

甘木市においても”水ひかる甘木”と題した水辺利用の公園化計画を作成しているので、ぜひ計画の中に盛り込んで欲しい。

国や県が行う除草は、刈る時期、範囲に違いがあるため見苦しいので、調整を図り一度に刈るべきだ。川の環境を調べるにしても、川に入るところがない。護岸が高くなると人と川とが親しみづらく、これからは地元と協議をして整備をしていくべきである。

将来的には下水の整備が進んでいき水質は良くなっていくと思うので、川と親しむ機会も増やしていくことが必要。

### 地域代表者懇談会の様子



# 流域1万人だより VOL.49

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 12月8日(水)に吉井町役場にて 吉井町地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」を実施中です。今回は12月8日(水)に吉井町役場において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名 吉井町

- ①. 代表者懇談会
- ②. 住民懇談会

### 出席者

国	4
県	0
町	2
住民	9

### 主な意見

#### 【昭和28年水害の記憶】

昭和28年水害の際は、江南・高田地区も水浸しとなり、堤防が削れ、家屋、牛、大木など、さらには恵蘇宿橋も流れた。川とはこんなに恐ろしいものかと思った。

#### 【昔の筑後川の思い出】

昔は筑後川でよく泳ぎ、笠(うけ)などで魚をとったものだ。河原も今と違いきれいだった。昔は堤防沿いに多くの菜の花が咲き誇り美しかったが、現在では草が生い茂ってしまい環境的にもよくない。吉井町のイメージが悪くなってしまふ。

#### 【環境・利用について】

対岸(朝倉町)の高水敷きが整備され、きれいに管理されているように思う。左右岸の均衡のとれた整備をお願いしたい。  
国・町に協力してもらい、童子丸(千年分水路)の遊水池周辺の公園化等を行ってほしい。身近な自然を活かして欲しい。  
隈の上川と本川の合流点付近はゴミがたまり、長野橋付近は不法投棄も多い。  
国・町が行う除草はそれぞれに時期、範囲が異なるため見苦しい。管理者が違うことに起因することはわかるが、住民の立場からすると合理性を欠いているとしか言えない。  
堤防道路の幅員が非常に狭い。せめて中央線が引けるぐらいの幅は確保してもらいたい。  
ヨシには水の浄化作用があると聞くが、あまりにも生い茂っているの、今後除去していくことも検討してほしい。  
高田樋管の兼用道路は、カーブ部分の水はけが悪く雨水がたまりやすくなっており、非常に危険であるので改善をお願いしたい。

### 地域代表者懇談会の様子



# 流域1万人だより VOL.50

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 12月13日(月)に杷木町役場にて 杷木町地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」を実施中です。今回は12月13日(月)に杷木町役場において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名 杷木町

1. 代表者懇談会
2. 住民懇談会

### 出席者

国	4
県	0
町	2
住民	13

### 主な意見

#### 【昔の筑後川の思い出】

私たちが子どもの頃は水が澄み切っていた。毎日のように泳いでいたし、魚も非常に多かった。

#### 【環境・管理について】

10年ぐらい毎日欠かさず歩いているが、雑草がはびこり背が高くなって歩道から筑後川が見えなくなってしまっており非常に残念である。年に2回刈ってもらっているが、除草前と除草後は全然気分が違う。除草する回数を増やしてもらえないだろうか。

増水後の川の中を見ると石が非常にきれいである。しかし、1ヶ月経ってしまうとコケだらけのもの石に戻ってしまう。

筑後川の魚で有明海に戻ってから遡上してくる種類は(ウナギ、ヤマタロウガニ)、年々少なくなっている。(遡上しない魚は減っていない。)堰に魚道等を設置しているが、のぼりにくい箇所もあるのではないかと。魚ののぼりやすい川づくりは今後も進めていかなければならない。

水質汚染の原因としては、人口増加、生活様式の変化に伴う家庭雑排水の流入等が考えられるが、公共事業において三面張りのコンクリートなど環境に配慮しなかった整備をしたこともその一因だろう。昔の川には自然治癒力があつたように思う。とにかく環境を汚染してしまったのは人間であり、将来の日本において一番の課題は環境を良くすることである。今後は行政機関も縦割りではなく、横の連携をとったプロジェクトも進めていくべきではないか。

堤防沿いに桜並木を植えようとしてもいろいろと規制があるようで難しい。思い切った規制の緩和をお願いしたい。

各自治体は財政難に陥っており、行き届いた河川管理(除草等)を行うには、国が民間業者と契約するところを自治体やNPO、市民団体等と直接契約を結ぶように改めていくべきだ。

#### 【その他】

河川関係の手続きについて(水利権等)もう少し簡素化してもらいたい。

### 代表者懇談会の様子

